

みなさん、おはようございます。新型コロナウイルス感染症が長崎でも広がりを見せていますね。感染しないためにも、手洗い、マスクの着用、換気などに気を付けて予防を心がけていきましょう。

さて、今日は「第 838 回平和祈念式」です。今回は私がお話をします。1 年生のみなさんは初めての平和祈念式ですね。しっかりと聞いて平和について考えてくれるとうれしいです。

今から 76 年前、まだ先生方も生まれていない頃のことです。日本はよその国と戦争をしていました。昭和 20 年 8 月 9 日 11 時 2 分、長崎に原子爆弾が落とされました。その恐ろしい爆弾のため、たくさんの方がなくなったりひどいけがをしたりしました。原爆が落とされた場所から 500 m しか離れていない城山地区もほとんどの建物が壊され、たくさんの方がなくなりました。城山小学校にいた先生は 31 人のうち 28 人が、児童は 1400 人あまりが家庭でなくなったそうです。

その中で、命だけは助かった子供たちがいました。その子供たちのことが書いてあるお話があります。それがこの本です。「世界でいちばん悲しいクラス」というお話です。たくさんの方が読んだことがあるのではないのでしょうか。今日は、1 年生が初めてですので、この本のことについてお話をしたいと思います。

この本では、生き残った先生方と子供たちの様子が描かれています。八幡神社に集まり、みんなの無事や今の様子を確認しあったこと。その後、稲佐小学校の教室を借りて授業を受けたこと。雨の日は傘もなく濡れながら裸足で学校に行ったこと。窓ガラスがなくて冬はとにかくふるえるように寒かったこと。

そのような中で迎えた卒業式は、卒業生は 14 名、卒業生を見送る在校生は 20 名でした。原爆で亡くなった家族や友達のこと、苦しかった生活のことを思い、みんな涙が止まらなかったそうです。それから 2 年後、校舎を修理して城山小学校として新たに出発しました。しかし、戦争が終わっても原爆による病気で亡くなる子供もいて、「原爆で亡くなった子供たちをいつまでも慰めるために」、そして「平和への強い思いを込めて」、「少年平和像」がつくられました。それから、毎月、平和祈念式を行うようになりました。

このお話の絵本は、図書室に置いてあると思います。機会があれば読んでみてください。また、図書室にはこのお話の「ポケット紙芝居」も置いてあります。探してみてください。

みなさんがいつも「少年平和像」への拝礼を心がけている姿、本当に素晴らしいと思います。これからも、この思いを大切にして、続けていってほしいと思います。1 年生のみなさんも心がけていきましょう。

これでお話を終わります。しっかりと聞いてくれて、ありがとうございました。